

別紙

1. 変更事項

4. 地域再生計画の目標

(目標2) 地域課題への貢献

5. 目標を達成するために行う事業

(5-1) 全体の概要

(5-2) 法第5章の特別措置を適用して行う事業

①道整備交付金を活用する事業

[整備量及び事業費] の内容

(添付資料) 5. 整備箇所図の内容

2. 変更事項の内容

新旧対照表

新	旧
<p>4. 地域再生計画の目標 (略)</p> <p>(目標2) 地域課題への貢献 地域の抱えるさまざまな課題に貢献して、安全で安心できる、また、地域が元気になる道路整備を実施</p> <p>※無医地区の解消 ・町内に4箇所(程内・石畳・池田・小田深山)も存在する無医地区を解消(最寄病院までの搬送時間5分短縮) ・離合困難箇所での<u>浪費</u>時間の解消</p> <p>※合併アクセス ・合併による広大な町土の周辺地域と中心部のアクセスを国道・県道改修事業と一体的に行い、管内30分交通網を<u>確立</u>する。併せて、旧町集落間の連絡強</p>	<p>4. 地域再生計画の目標 (略)</p> <p>(目標2) 地域課題への貢献 地域の抱えるさまざまな課題に貢献して、安全で安心できる、また、地域が元気になる道路整備を実施</p> <p>※無医地区の解消 ・町内に4箇所(程内・石畳・池田・小田深山)も存在する無医地区の<u>定義</u>を解消(最寄病院までの搬送時間5分短縮) ・離合困難箇所での<u>損失</u>時間の解消</p> <p>※ 合併アクセス ・合併による広大な町土の周辺地域と中心部のアクセスを国道・県道改修事業と一体的に行い、管内30分交通網を<u>確率</u>する。併せて、旧町集落間の連絡強</p>

新	旧
<p>化を図る道路整備を行い、一体感の醸成を図る。</p> <p>※災害に強い道づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落石、路肩崩壊危険箇所など、自然災害に極めて弱い区間を整備し、広範に散在する山間集落が安全で安心して生活できる、災害に強い地域を目指す。 <p>5. 目標を達成するために行う事業</p> <p>(5-1) 全体の概要</p> <p>町のシンボルプロジェクトの1つである内子ツアーリズムにおける泉谷棚田を舞台とした交流農業体験活動を支援するため、棚田へのアクセスとなる町道泉谷線を改良し、離合困難箇所を解消することで、大型観光バス等の通行を円滑にし、交流人口の20%増大を目指す。また、同じく、ふるさとの森やグライダー基地などを舞台とした観光交流を支援するため、町道古田鉾山線の舗装を実施し、通行の円滑化を図ることで、交流人口の20%増大を図る。</p> <p>地域の課題の一つとなっている、無医地区（程内・石畳）への救急医療支援のための道路整備として、町道御調神社線、町道西横の地線の離合困難箇所を整備して、離合困難による損失時間を解消し、最寄病院までの搬送時間を5分短縮する。御調神社線については、林道別府ヶ峠線から市場への生産材の流通経路にもなっており、林道と一体的整備を図り、施業の効率化や大型搬出車等の通行の円滑化など林業経営者の負担軽減を図ることで、間伐実施面積の増大や放置林の減少などが期待でき、林業振興に大きく寄与することとなる。また、比較的大きな集落を持つ町道重松中線については、幅員狭小のうえ、地質が非常に軟弱で、落石や路側崩壊も多く、通行に著しく支障が出ている路線であり、特に自然災害時には地域の孤立化が懸念されている。同じく、町道水戸森富浦線についても、中山川を挟む国道56号と対岸集落を連絡する重要路線であるが、幅員狭小であるとともに、中山川に架かる五城橋の老朽化から、自然災害時に地域の孤立化などの懸念がある。このため、地域の避難路となる本路線を整備し、災害に強く、安全で安心できる地域づくりを行う。</p>	<p>化を図る道路整備を行い、一体感の醸成を図る</p> <p>※災害に強い道づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落石、路肩崩壊危険箇所など、自然災害に極めて弱い区間を整備し、広範に散在する山間集落が安全で安心して生活できる、災害に強い地域を目指す。 <p>5. 目標を達成するために行う事業</p> <p>(5-1) 全体の概要</p> <p>町のシンボルプロジェクトの1つである内子ツアーリズムにおける泉谷棚田を舞台とした交流農業体験活動を支援するため、棚田へのアクセスとなる町道泉谷線を改良し、離合困難箇所を解消することで、大型観光バス等の通行を円滑にし、交流人口の20%増大を目指す。また、同じく、ふるさとの森やグライダー基地などを舞台とした観光交流を支援するため、町道古田鉾山線の舗装を実施し、通行の円滑化を図ることで、交流人口の20%増大を図る。</p> <p>地域の課題の一つとして問題となっている、無医地区（程内・石畳）からの救急医療支援のための道路整備として、町道御調神社線、町道西横の地線の離合困難箇所を整備して、離合困難による損失時間を解消し、最寄病院までの搬送時間を5分短縮する。御調神社線については、林道別府ヶ峠線から市場への生産材の流通経路にもなっており、林道と一体的整備を図り、施業の効率化や大型搬出車等の通行の円滑化など林業経営者の負担軽減を図ることで、間伐実施面積の増大や放置林の減少などが期待でき、林業振興に大きく寄与することとなる。また、比較的大きな集落を持つ町道重松中線については、幅員狭小のうえ、地質が非常に軟弱で、落石や路側崩壊も多く、通行に著しく支障が出ている路線であり、特に自然災害時には地域の孤立化が懸念されている。同じく、町道水戸森富浦線についても、中山川を挟む国道56号と対岸集落を連絡する重要路線であるが、幅員狭小であるとともに、中山川に架かる五城橋の老朽化から、自然災害時に地域の孤立化などの懸念がある。このため、地域の避難路となる本路線を整備し、災害に強く、安全で安心できる地域づくりを行う。</p>

新	旧
<p>合併による弊害を無くし、一体感を醸成するためには、周辺地域からのアクセス改善と、地域間の連携の強化が重要となってくる。このため、旧町間の山間集落の主要連絡道として、町道八ッ松内子線の舗装を実施し、地域間交流を促進して地域の連携強化を図るとともに、自然災害時の避難路としての機能向上も図る。また、合併により、周辺地域となった<u>臼杵地区</u>、<u>吉野川地区</u>、<u>日野川地区</u>のアクセス支援のため、<u>大平地区から臼杵地区を結ぶ林道道房掛橋線の開設</u>、通行の難所となっている町道吉野川峰線の改良と、<u>道德熊の藪線の舗装を整備する</u>。また、小田深山に近く、広大な森林を有するものの、<u>放置林の目立つ上川地区において、上川集落の林道面谷線から中川集落を経由して本川集落の県道小田柳谷線を結ぶ林道蔵ヶ谷面谷線の整備と併せて林道蔵ヶ谷面谷線の間から県道小田美川線を結ぶ林道御獄線を一体的に整備し</u>、森林管理の適正化を図るとともに、<u>施業の効率化、市場までの流通の円滑化を図ること</u>で、<u>林業振興を促進する</u>。</p> <p>上記各路線については、観光地、交流施設、産地、主要集落など、地域における重要拠点と幹線や市場を結ぶ重要路線となっており、主に自動車による道路交通に依存せざるを得ない当町においては、地域再生に必要不可欠な大動脈である。これらの路線をまちづくりの各種関連事業や国道、県道整備事業などとも連携しながら、一体的に整備することで効率化を図り、<u>町並み～村並み～山並み</u>が共に輝く、魅力あるまちづくりを目指す。</p> <p>(5-2) 法第5章の特別の措置を適用して行う事業道整備交付金を活用する事業 (略) [整備量及び事業費] ・町道 4. 6km 林道 <u>4. 3km</u> ・総事業費 <u>1,488,900千円</u> (うち交付金<u>744,450千円</u>) 町道 938,500千円 (うち交付金469,250千円) 林道 <u>550,400千円</u> (うち交付金<u>275,200千円</u>)</p>	<p>合併による弊害を無くし、一体感を醸成するためには、周辺地域からのアクセス改善と、地域間の連携の強化が重要となってくる。このため、旧町間の山間集落の主要連絡道として、町道八ッ松内子線の舗装を実施し、地域間交流を促進して地域の連携強化を図るとともに、自然災害時の避難路としての機能向上も図る。また、合併により、周辺地域となった<u>吉野川地区</u>、<u>日野川地区</u>のアクセス支援のため、通行の難所となっている町道吉野川峰線の改良と、<u>道德熊の藪線の舗装を整備する</u>。また、小田深山に近く、広大な森林を有するものの、<u>放置林の目立つ上川地区において、林道御獄線を整備し</u>、森林管理の適正化を図るとともに、<u>施業の効率化、市場までの流通の円滑化を図ること</u>で、<u>林業振興を促進する</u>。</p> <p>上記各路線については、観光、交流、産地、主要集落など、地域における重要拠点と幹線や市場を結ぶ重要路線となっており、主に自動車による道路交通に依存せざるを得ない当町においては、地域再生に必要不可欠な大動脈である。これらの路線をまちづくりの各種関連事業や国道、県道整備事業などとも連携しながら、一体的に整備することで効率化を図り、<u>町並～村並み～山並み</u>が共に輝く、魅力あるまちづくりを目指す。</p> <p>(5-2) 法第4章の特別の措置を適用して行う事業道整備交付金を活用する事業 (略) [整備量及び事業費] ・町道 4. 6km 林道 <u>2. 8km</u> ・総事業費 町道 938,500千円 (うち交付金469,250千円) 林道 <u>320,000千円</u> (うち交付金<u>160,000千円</u>)</p>